

25 喬企第 28 号
平成 25 年 10 月 30 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 山田 佳臣 様

長野県下伊那郡喬木村
喬木村長 大平 利次

リニア中央新幹線環境影響評価準備書に対する意見について

飯伊地域待望のリニア中央新幹線の開業に向かい、村民の期待は大きく、また、貴社の日々の開業に向けた取り組みに対し、敬意を表します。

一方で、本村におきましては、想定路線 2 km のほとんどが高架橋で通過する明かり部となっており、沿線住民にとりましては、住居移転・工場移転、あるいは日照問題、騒音等、想定される諸問題に夜も眠れないとの不安をよく耳にします。

リニア中央新幹線の建設事業に当たっては、必要な調査等を徹底して、地域の環境や住民生活等に対する喫緊の不安解消に向けた取り組みを強く要請するとともに、事業を円滑に推進し、誰もが明るい希望が抱ける環境作りと配慮をお願いします。

については、標記の件に関しまして、下記のとおり意見を申し上げます。

記

1. 大気質・騒音等について

・当村工事区間は、住宅地であるため、工事期間中・供用開始後も大気質及び騒音の定期的な測定と公表を行うこと。

2. 水質の保全について

・工事排水については、沈砂池、浄化槽を設置し、農地及び水路の水質維持を図ること。

3. 地下水・水資源・水環境について

・山梨実験線の例に鑑み、村営水道の重要水源である田中下、堰下水源は、万が一枯渇した場合、代替水源の確保が困難なことから、工事着工にあたっては、事前に代替水源の確保をし、緊急の場合は即日通水できるようにすること。

- ・当該地域では、河川、個人井戸、共同水道等、多くの水資源が有効に活用されていることから、水位、水質については、事前調査を綿密に行い、工事中、完了後も定期的に影響調査を行うこと。
- ・村内区間唯一のトンネル区間については、排水路の未整備区間のため、トンネル工事により地下水の湧出、排水がある場合、流末排水路について考慮すること。
- ・喬木村境を流れる壬生沢川は、河川断面も小さく、台風等自然災害の脅威に常に晒されている。計画では、豊丘村を通過する長大トンネルの出口は、壬生沢川流域となっており、トンネル掘削による湧水が発生した場合、排出先として壬生沢川は大規模な河川改修が必要である。または、代替排出路を整備するか早急にJ Rとしての見解を示すこと。
- ・村内区間は、過去に災害時、冠水した事例がある。今回の工事で、雨水の貯留等調整地となっていた耕地が消滅し、コンクリート構造物に置き換わり災害の発生が憂慮される。リニア高架橋の雨水処理は天竜川へ直接放流する構造とするとともに、排出が滞留することのない構造とすること。
- ・沿線の農業用水については、その多くを壬生沢川、土井場沢川等、小河川から取水している。工事により、枯渇した場合の対策について示すこと。

4. 生活環境の安心・安全の確保について

- ・本村の恵まれた自然環境、きれいな空気、おいしい水・・・終の棲家として、待望の住宅を取得した住民にとっては、日陰、騒音、震動等、想定しなかった事態に不安な日々を過ごしている。特に、都会の住宅密集地とは異なり、多少不便でも、良好な日当たりと静かな環境を求めて住宅を建設した住民には尚更である。沿線住民に対し、日照問題、騒音対策について、懇切丁寧な説明を求めるとともに、補償の内容、景観配慮の具体的事案について説明すること。
- ・工事区間は、前述のとおり、住宅地に隣接している。騒音、振動による環境影響は、地域住民にとって大きな不安材料となっている。特に、振動により、既存家屋の損傷（建て付けが悪くなった、家が傾いた、等々不安はつきない）が発生した場合の対応を示すこと。
- ・通勤、通学時間帯の作業車両の制限、通学路の安全確保対策、工事期間中の地元車優先等、地域に配慮した工事計画を示すこと。
- ・開通後の22m幅用地の活用について、地域の要望に配慮した弾力的な活用について配慮すること。

- ・移転対象となる住宅、工場については、村としてこの地域を守るため、代替地確保等、積極的に協力したいが、造成、道路、上下水整備等、かなりの資本注入、専従職員の配置等が必要となる。補償に対する自治体とJRのスタンスについて早急に示すこと。
- ・本来、生活用道路として整備している道路を、重機等が頻繁に往来することによる、劣化、損傷等（見える部分、見えない部分含め）どのような対応をとられるのか示すこと。
- ・現場作業員と住民のトラブルが起こらないよう、作業員への教育を充分に行うこと。

5. 自然環境の保全について

- ・日本有数の河岸段丘で構成される本村は、その豊かな地勢的条件を守るため、不断の努力を重ねてきた。巨大なコンクリート構造物が当該地区を縦断することになり、景観は圧倒的に変貌する。できる限り、景観を損ねないためにも、防音防災フードの透明化や無機質な構造物に意匠を加えるなど、特段の配慮を要望する。
- ・村内を通過予定のトンネル出口周辺は急傾斜地崩壊危険区域に指定されている。万が一にも崩落、崩壊のないようトンネル坑口部の法面保護対策等万全を期すこと。

6. 文化的環境の保全について

- ・当該工事区間は、文化財包蔵地内を通過することとなっている。特に阿島北地区は、考古学者の間でも有名な阿島式土器が発掘される地域であり、村の施工する工事でも細心の注意を払って、慎重に遺跡発掘を行っている。工事施工にあたっては、遺跡等文化資産の存在の可能性があることから、それらの調査・保存について万全の措置をとることを強く要望する。また、各種施設の用地設定や工事等に際し、地域の歴史的・文化的環境や地域住民の活動に影響を及ぼすことのないよう特段の配慮を要望する。

7. 用地買収について

- ・用地買収に際しては、先祖伝来の土地や家屋を手放したり、慣れ親しんだ生活の基盤を移転せざるを得ない住民の心情等を十分に忖度し、誠意と責任を持ってあたるように要望する。また、買収にあたり路線の左右に用地が分断される等、その後の活用に支障が生ずる案件については、地権者の立場で、懇切丁寧な交渉や有効活用策について検討すること。

8. 村との信頼・協力関係の醸成と強化について

・リニア建設という巨大プロジェクトを安全且つ円滑に推進するためには、貴社と当村との信頼・協力関係の構築が絶対不可欠である。今後国土交通大臣の認可をもって、着工となるが、迅速で正確な情報交換と課題解決にあたって、両者の連携はより重要となる。本村にとって、定住人口確保と雇用先確保は喫緊の課題であり、本工事による住民の流出、企業の転出はなんとしても防ぎたい。そんな村の思いも是非お聞き届けいただき、今後の事業執行にあたっていただきたい。

・開業後の不測の事態に即応できるよう、貴社の相談窓口を設置していただきたい。

以上